

【月案】4月・5歳児

今月の保育のポイント

- 年長児になり、入園式などの場所でリードする役割が増える。子どもも少なくとも不安があり、緊張しながら行っていることが多いので、やりがいに変わるよう「がんばったね、えらかったね」と子どもを認め、情緒を満たす。
- 年長になって新しいクラスになり、役割も増え、不安な子どももいる。まずはひとつ大きくなった自分を楽しめるよう、好きな遊びを広げていく時間を十分保障し、友達や保育士とのつながりを十分感じられるように関わる。
- 年長児になり、運動機能も発達してきて、激しく戸外で遊ぶ子どももよく見られる。4月はじめでまだ浮足立つ気持ち引き金となって怪我をする子どもも多く、ぶつかる、転ぶ、落ちるなどの怪我には十分注意して見守る。

月のねらい

- 新しいクラスに慣れ、情緒の安定した生活が送れるようにする。
- 生活の流れを覚え、身の回りのことは自ら進んで行う。
- 年長になった喜びを味わいながら、気の合う友達や保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ。
- 春の花や生き物に気づき、自然に興味関心を持つ。
- 新生活に対する思いを受け止め、安心して過ごせるようにする。
- 一人ひとりの体調に留意しながら、新生活を健康に過ごせるようにする。
- 友達とルールのある遊びを楽しむ。
- 心地よい気候の中、のびのびと体を動かすことを楽しむ。

週のねらい

その1

- 1週目：生活の流れを覚え、身の回りのことは自分で行おうとする(養護)
- 2週目：気の合う友達や保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ(教育)
- 3週目：新しいクラスに慣れ、安心して過ごす(養護)
- 4週目：春の草花や生き物に気づき、見たり触れたりして遊ぶ(教育)

その2

- 1週目：進級した喜びを味わいながら、友達や保育士と一緒に好きな遊びを楽しむ(教育)
- 2週目：春の植物や生き物に興味をもち、自らかかわろうとする(教育)
- 3週目：遊びや活動のなかで、自分の言葉で思いを伝えたり、話し合ったりする(教育)
- 4週目：絵本や歌を通して春の自然に興味をもち、のびのびと表現することを楽しむ(教育)

その3

- 1週目：喜びや不安等に寄り添い、安心して過ごせるようにする(養護)
- 2週目：戸外に出て遊ぶ楽しさを味わう(教育)
- 3週目：新しいクラスの生活リズムに慣れる(養護)
- 4週目：端午の節句の意味を知り、鯉のぼりを見たり、製作をする(教育)

その4

- 1週目:様々な遊びの中から好きな遊びや興味がある遊びを見つけ、存分に楽しむ(教育)
- 2週目:友達と一緒にルールがある遊びを楽しむ(教育)
- 3週目:様々な素材を使って工夫しながら製作することを楽しむ(教育)
- 4週目:保育者や友達に親しみ、安定して過ごす(養護)

前月末の子どもの姿

養護(生活)

- 自分が年長になることに対する期待が高まり、自信を持って生活している子どもが多い。
- だんだんと気温が暖くなる日が多く、気温の変化や春の花のつぼみが出ているのに気づいたりする子どももいた。
- 年下の友達に対して優しく接しようとしたり、優しい言葉で教えてあげようとする姿が見られた。
- お箸にも興味をもち、使ってみようとする子どももいたが、まだまだうまく使えず食べこぼしたり途中でスプーンに持ち替える姿もあった。
- 新しい保育室で過ごすようになり、年長になる自覚に繋がる一方で生活の仕方に戸惑う姿がある。
- 年長児のお別れ会や卒園式に意欲的に参加し、感謝の気持ちを伝えようとする姿が見られていた。
- 給食を楽しみにしている。話をすることに夢中になり、食事が進まないことがある。
- 自分の体の状態に気づき、衣服調節をしたり、腹痛等を訴えようとする。

教育(遊び)

- 自分の気持ちを言葉で表現し、相手が分かるように伝えようとする姿がある。
- 簡単なルールのある遊びを好んで友達と楽しそうに遊んでいた。また、ルールが少しずつ難しくなっても理解して遊んでいる子どももいたが、複雑なルールはなかなか理解できない子どももいた。
- 砂や葉っぱ、花びらなどを使いながらままごとを楽しんだり、友達と役割を決めてごっこ遊びを楽しんでいる。
- 運動能力が高まり積極的に挑戦する姿が増え、跳び箱や縄跳びを跳べるようになったり、鉄棒の技が出来るようになる姿が見られている。
- ハサミやのり、テープ等の道具を使って製作をすることに意欲的である。
- 友達との関わりが深まり、子ども同士で遊びを発展させようとする。互いの思いが譲れず、トラブルになることがある。

活動内容(五領域対応)／環境構成と援助

養護(生活)

- 活:年長での生活の約束や流れを覚え、身の回りのことを自分で行おうとする。(健康)
環:新クラスでの約束や生活の流れなど全員で確認し、子どもが流れを覚えられるようにする。
- 活:進級を喜び、気の合う友達や保育者と関わりながら安心感を持ってのびのびと過ごす。(人間関係)
環:新しい環境に戸惑い、なかなか情緒が安定しない子どももいる。一人ひとりの様子を注意してみておき、友達と関わりが持てるように援助していく。

- 活: 体温の変化に合わせて衣類の着脱を自ら行おうとする。(健康)
環: 暖かい日も増え、戸外で思いつき身体を動かすと汗をかく子どももいる。適切に衣類が着脱できているか様子を気にしておく。
- 活: 異年齢児と関わりをもち、優しく接しようとする。(人間関係)
環: 入園式や自由遊びの際に異年齢児とも関わりを持ち、年下の友達への接し方を考える機会を設ける。難しい子どもには、具体的にどんな風に優しくするのかを伝えるなどし、子どもなりに工夫しながら関わりが持てるよう必要に応じて援助する。
- 活: 友達や保育者と対話し、思ったことや自分の気持ち、経験等を順序だてて話そうとする。(言葉)
環: 自分が話したい気持ちが強い子には、一方的な会話にならないように、「~でどうだった?」「~についてはどう思う?」「~だって思っているんだけど」等、友達同士での会話やトラブルにおいても、対話形式になるよう、他者の話を聞けるように場面に応じて間をもつ。
- 活: 当番活動や行事などで、自信をもって5歳児の役割を果たそうとする。(健康・人間関係)
環: 昨年の5歳児が行っていた役割や姿を思い出しながら、時間に余裕をもって当番活動や行事に取り組む。不安に思う子どもには、手順を1つ1つ確認しながら進めていき、出来たことを認めていく。
- 活: 既存の決まりの中で自分たちで生活を進め、より良い楽しい生活を作ろうとする。(健康・人間関係・環境)
環: 「今日はどちらがしたいかな?」「これで困っているのだけど、どうしたらいいだろう?」など、子どものやりたい活動を選んでもらうことや、困っていることの問題についてを既存の活動にプラスで入れる。子どもたちが自分で生活を作る実感を得られるようにする。
- 活: 進級に対する思いを言葉で伝え、受け止めてもらいながら安定して過ごす。(健康)
環: 安心して言葉にできる雰囲気を作る。一人ひとりの思いを受け止め、気持ちに共感しながら関わり、安心した気持ちで生活を送れるようにする。
- 活: 新入園児や友達が困っている時には声をかけたり、手伝ってあげようとする。(人間関係)
環: 相手の様子に気付いて声をかける姿を温かく認めたり、クラス全体で「こんな時はどうしよう?」と状況を想定した関わり方を考えながら、相手を思いやる気持ちを育てていく。
- 活: 新しい生活の仕方や生活リズムに慣れる。(健康・環境)
環: 1日の流れについて掲示し、その都度声がけをしたり一緒に取り組みながら少しずつ新しい生活に慣れていけるようにする。
- 活: 友達と関わる中で、自分と同じ思いや異なる思いに気付き、共感したり譲ったりする気持ちが育つ。(人間関係)
環: 喜んだり葛藤する姿、友達と違う思いでも自分の気持ちと折り合いをつけて解決する様子を認めていく。必要に応じて互いの思いを代弁しながら一緒に解決策を考え、お互いの気持ちを尊重していく心を育む。
- 活: 新しい部屋での共有の場所、自分の場所が分かり、部屋や物を大切に使う。(環境)
環: 保育者が場所や物を大切に使う姿を示す。新しい部屋での生活の仕方、物の扱い方等を一緒に考えながら、共有の場や自分の場所に親しみ、大切に扱おうとする気持ちに繋げていく。
- 活: 食事の簡単なマナーを守りながら、新しい環境で食事を楽しむ。(健康)
環: 新しい場所で食事をする新鮮さや楽しさに共感する。日々、食事のマナーを確認し、意識する姿を認めて定着や他児の意識に繋げていく。
- 活: 端午の節句の由来が分かり、保育者や友達と共有しようとする。(言葉・環境)
環: 分かりやすく由来について知らせ、気付きや理解したことを言葉にする姿を認めながら行事に対する関心に繋げる。

教育(遊び)

- 活: 春の草花や生き物などの自然に興味を持ち、調べたり触ってみたりして遊ぶ。(環境)
環: 冬には咲いていなかった花や暖かくなって出てきた生き物に興味を持てるよう、保育室に自然の図鑑などを準備しておく。また、子どもが自然に興味を持てるように声かけを必要に応じて行っていく。

- 活: 人の話を聞き、自分の思ったことや感じたことを話す。(言葉)
環: 子どもが自分の気持ちを話そうとしている時にはしっかりと気持ちを受け止め、気持ちを伝える満足感を味わえるようにしていく。
- 活: 遊びを通してクラスの友達と関わりを持ち、一緒に遊んだり過ごしたりすることを楽しむ。(人間関係・健康)
環: 椅子取りゲームやハンカチ落とし、しっぽ取りなど、クラス全員でできる遊びを準備し、新しい友達とも関わりが持てるようにする。その際には、前から仲の良い友達だけでなく、できる限りいろんな友達と関わりが持てるよう援助していく。
- 活: 戸外で思いっきり身体を動かして遊び、身体を動かす心地よさを味わう。(健康・環境)
環: 戸外遊びの時間を十分に取り、好きな遊びややりたいことを思う存分楽しめるようにする。
- 活: モノの使い方や使う時の約束を確認し、正しく使いながら製作を楽しむ。(環境・表現)
環: 入れる場所、片付ける場所を明確化しておき、子どもが整理整頓された環境で使うことが使いやすくなるようにする。
- 活: 春ならではの旬の食べ物に触れ、春を表現したり味覚を楽しむ。(環境・表現)
環: 食べ物には旬があることを導入し、タケノコなどの旬の物に触れる機会をつくる。タケノコの皮を剥く、写生など、春の自然や旬の食べ物に興味関心がもてるようにする。
- 活: ルールのある集団遊びを楽しむ。(人間関係・表現)
環: 大勢で関わって楽しめる集団遊びを時には、異年齢も巻き込んで行っていく。年下の子にどう接するかも場面によって伝えていく。最初は短時間で集中して遊べるように内容を検討する。
- 活: 春の自然に関わりながら、虫探しや色々な遊びを試して季節を楽しむ。(人間関係・環境・表現)
環: 遊びたい内容や集めたいもの、飼育も含めて子どもたちの要望や興味に応じて用具を準備し、時間を十分に保障する。保育者も遊びに参加して遊びをより本格的なものに盛り上げていく。
- 活: 春の歌や行事の歌、慣れ親しんだ歌をうたうことを楽しむ。(表現)
環: 季節に合った曲や前年度に好きだった歌等をうたい、姿を温かく認めながら、友達と声を合わせてうたう一体感や楽しさを味わえるようにする。
- 活: 様々な遊びに主体的に関わって遊び、楽しさを味わう。(健康・環境)
環: 前担任から好きな遊びを聞いて提供したり、新たな遊びを用意しながら一人ひとりが好きな遊びで遊べるようにする。又「～したい」という気持ちに答えられるよう素材を用意しておく。
- 活: 園外に出て歩いたり、公園で遊ぶことを楽しむ。(健康・環境)
環: 事前に散歩ルートや公園の状態確認を行っておき、園外ならではの出会いや遊び等を十分に楽しめるようにする。
- 活: 粘土やお絵かき等で自由に表現することを楽しむ。(表現)
環: 細部までイメージを再現できるよう粘土ペラの種類や画材の種類を充実させ、表現する楽しさに繋げる。
- 活: 折り紙、絵の具、お花紙等を使って春の製作や端午の節句の製作をする。(環境・表現)
環: 見本を用意しておき、意欲やイメージを引き出せるようにする。一人ひとりのアイデアをクラス全体で共有しながら認められる喜びや認める気持ちに繋げる。
- 活: 遊具や用具等の使い方を守って遊び、体を動かすことを楽しむ。(健康・環境)
環: 新生活で気持ちが落ち着かず思わぬ事故に繋がる可能性があるため、遊ぶ前には必ず約束事を確認する。又、遊びの様子を見守り、気持ちが昂る際には落ち着けるような時間を作る。
- 活: 友達の話を興味を持って聞き、共感したり、質問する中で親しみを持つ。(人間関係・言葉)
環: インタビューし合ったり、相手を知れるようなゲーム等を取り入れていく中で、友達を親しむ気持ちに繋げていく。
- 活: 友達と共通のイメージを持ってごっこ遊びをする。(人間関係・言葉・表現)
環: 友達と一緒に遊ぶ楽しさに共感する。イメージが伝わらずもどかしさを感じている時は、イメージに合う言葉を考えたり、イメージに関する絵や写真等を探したりしながら相手に伝える方法を一緒に考えていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 年長になって初めて使う玩具や遊びなどは、事前に使い方や約束を確認し、怪我のないように注意する。
- 年長になった喜びを感じる一方で、気持ちが浮ついてしまう子どももいる。園生活の約束やクラスでの約束を改めて確認し、安全に過ごせるようにする。
- 新しいクラスや友達に不安を感じ、情緒が不安定になり体調を崩しやすい子どももいる。体調の変化や様子に異変がないかをよく注意しておく。
- 前年度の担任と一人ひとりの情報を共有し、安全な保育環境を整える。
- 朝夕は異年齢合同で過ごすため、3歳以上児の担任と情報共有を行い安全な保育に努める。
- アレルギー児用の席や食器を用意し、誤食に繋がらないようにするとともに、子ども達にアレルギーについて知らせる。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- 似顔絵フラワー／イースターバスケット／輪っかでおむし

歌

- はるがきた／うたえバンバン／あかいやねのいえ

絵本

- おひさまパン／ぴかくん めをまわす／あおくんときいろちゃん

手遊び

- キャベツの中から／ピクニック／さかながはねて

室内室外遊び

- かんたんブーメラン遊び(外でも使えるよ)／お尻競争／春をあつめよう

行事

- 入園式
- 身体測定
- 避難訓練
- 誕生会
- 個人面談
- 全体懇親会
- エイプリルフール(4/1)
- 花まつり(4/8)
- イースター(4/20)
- 恐竜の日(4/17)

- 昭和の日(4/29)

食育

- 友達と一緒に楽しい雰囲気の中で安心して食事をする。
- 旬の果物や野菜などにも興味をもち、図鑑で調べたり実際に触れたりして食べ物に対して興味を持つ。
- 食事の時間を意識しながら食べ進めようとする。
- 箸の持ち方を知り、使って食事をすることを喜ぶ。

異年齢保育

- 新しい環境に慣れない友だちの手助けをする姿を認め、優しさや思いやりの気持ちを育てる。
- 喜んで乳児と交流する姿に寄り添いつつ、相手に伝わりやすい言葉がけや安全な接し方を示す。
- 散歩の際は、歩幅や歩く速さの違いによる転倒に注意し、落ち着いて歩けるように声かけしながら見守る。
- わらべうたあそびを楽しみながら、年下の友だちと少しずつ親しめるように関わる。
- 年下の友だちと給食を食べる中で、食具の扱いやマナーなど、できている部分を認め、自信につなげる。

職員間の連携

- 体調の崩れや情緒の乱れが出やすい時期なので、様子を観察してこまめに伝え合う。
- 遊具の使用法や共通の遊び場での約束事を再確認し、全職員が統一した対応を取り、安全に配慮する。
- 子どもの個性や必要な配慮を前担任から引き継いで把握し、丁寧に関わりながら信頼関係を築く。
- 園庭やホールを使用する日時を早めに他学年と調整し、安全に活動できるようにする。
- 子ども同士のトラブルは共有し、どの職員も正確に把握して保護者に報告できるようにする。

地域と家庭との連携

- 1年間の子どもの育ちの見通しや行事などを伝え、保護者の方にも年長での生活の流れがわかるようにする。
- 年長になってからの様子やつまずきなどを保護者に具体的に伝え、家庭でのサポートに協力してもらえるようにする。
- 緊急連絡先や怪我の時の対応などを保護者の方と改めて確認する。
- 進級による不安や悩みに寄り添いながら、日々の生活の様子を伝えて信頼関係を築いていく。
- 懇談会ではクラスの様子を動画や写真を用いて伝えたり、保護者同士の交流に繋がるような内容構成にする。
- 散歩の際に消防署や交番、老人ホーム等がある道を通り、挨拶を交わすことで交流を図ったり地域の一員であることを感じられるようにする。

長時間保育の配慮

- 日中との気温差に応じて衣服の調整を促し、快適に過ごせるようにする。

- 個々の甘えや疲れを受け止め、落ち着いた雰囲気の中で一緒に遊んだり、話をよく聞きながら関わる。
- 保護者への申し送り事項は、メモなどを活用し、担当の職員にわかりやすく伝達する。
- 荷物の持ち帰り忘れや間違いがないように、整理整頓を促すとともに、一緒に確認を行う。
- 保護者が迎えに来る前にトイレに行くことを促し、スムーズに帰れるようにする。

自己評価

- 年長になったことを喜び、意欲的に生活することができたか。
- 生活の約束や流れを覚え、子どもが率先して身の回りのことを行えていたか。
- いろんな友達と関わりをもち、新しい友達と遊ぶ楽しさを味わえたか。
- 保育者や友達と一緒に過ごすことを喜び、のびのびと過ごすことができたか。
- 春の自然に触れ、草花や生き物に興味、関心を持つことができていたか。
- 旬の果物などにも親しみ、季節の食べ物に対して興味を持つことができたか。
- 保育者や友達の話をよく聞き、自分の気持ちや考えを表現しようとしてきていたか。
- 新生活に対する喜びや不安に寄り添い、一人ひとりが安定して過ごせるようにしたか。
- 高まる気持ちや疲れ等を考慮し、安全で健康に過ごせるよう保育したか。
- 安心した気持ちで当番活動や行事での役割に取り組めるよう関わったか。
- 楽しい雰囲気の中、食事をする喜びを味わっていたか。
- 好きな遊びを継続して楽しみ、達成感や充実感を感じられていたか。
- 身近な素材を使って表現することを楽しめていたか。
- 保護者の進級に対する思いを受け止めたり、保護者同士で交流できるような場を設け安心感に繋げることができたか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー&ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

